

2020 年度



未来ファンドおうみ

助成事業

募集案内(募集要項)

応募受付期間

2019年11月20日～2020年1月10日

1月10日(金)17時 必着

淡海ネットワークセンター

(公益財団法人淡海文化振興財団)

ホームページ

<https://www.ohmi-net.com/>



目次

1. 未来ファンドおうみとは	1
2. 募集内容	2
3. 助成事業の留意事項	4
4. 応募手続き	7
5. 助成する基金の種類と内容	
① びわこ市民活動応援基金【改訂】	9
② びわ湖の日基金	10
③ 積水化成品基金	10
④ 笑顔あふれるコープしが基金	11
⑤ ナカザワNEOフレンドシップ基金	11
⑥ げんさん食育NPO基金	12
⑦ 湖国文学活動応援むらさき基金	12
⑧ びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金	13

運営委員会

未来ファンドおうみ運営委員

井手 慎司	滋賀県立大学 教授
歌代 泰和	パナソニック株式会社OB
東 登志也	淡海ネットワークセンター事務局長

未来ファンドおうみ審査委員

(50音順)

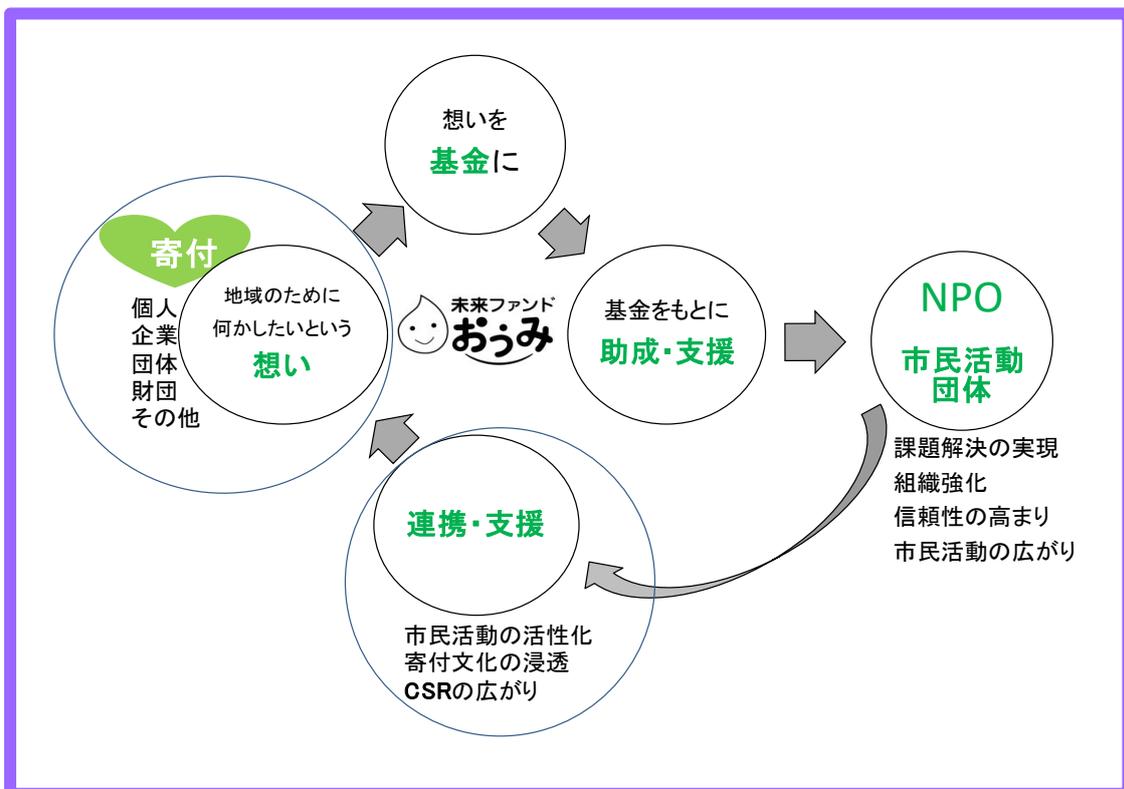
遠藤 恵子	認定特定非営利活動法人まちづくりネット東近江 事務局長
大平 正道	地域づくりアドバイザー
福井久美子	認定特定非営利活動法人NPOぽぽハウス 副理事長

1. 未来ファンドおうみとは

淡海ネットワークセンターは、1997年の設立以来、地域の個性や魅力を高め、暮らしをより良くするためのNPO・市民活動団体などによる自主的な活動を支援してきました。その一環として2002年度に「おうみNPO活動基金」を設立しました。

2011年4月には、公益財団法人への移行を契機としてこれまでの基金の主旨を引き継ぎながら、さらに幅広い助成や充実した支援につなげるために「未来ファンドおうみ」を創設しました。これまでに実施した助成は、247事業、のべ総額1億3千8百万円にのぼります。

このように「未来ファンドおうみ」は、“地域のために何かしたい”という想いを寄付としてお受けし、その想いを基金という形にし、その基金をもとに地域の課題解決に取り組むNPOや市民活動団体を支援しています。



2. 募集内容

(1) 応募団体の要件

次の三つの要件を満たす特定非営利活動法人(NPO法人)またはそれに準ずる団体が応募できます。

- ① 滋賀県内に活動拠点または事務所を有する団体
 - ② 継続的な活動が期待できる団体
 - ③ 反社会的勢力でないこと、反社会的勢力と密接な交友関係を有しないこと、反社会的勢力に類する行為をしない団体
- ※ NPO法人に準ずる団体とは、定款、規約、会則等を持ち、組織として意思決定ができるものをいいます。

(2) 対象となる事業

次のすべての要件を満たす事業で、かつ9ページ～13ページの助成事業の要件を満たす活動を対象とします。

- ① 不特定多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする事業
- ② 非営利の事業
- ③ 団体が自主的に取り組む事業

(3) 対象とならない事業

次のいずれかに該当する事業は、助成の対象となりません。

- ① 宗教活動および政治活動
- ② 特定の公職者(候補者を含む)または政党を推薦、支持、反対することを目的とする事業

(4) 募集する助成事業

※ 申請事業に最も適した助成事業(基金)に応募してください。

①	びわこ市民活動応援基金	詳細は 9 ページをご覧ください。
②	びわ湖の日基金	詳細は 10 ページをご覧ください。
③	積水化成品基金	詳細は 10 ページをご覧ください。
④	笑顔あふれるコープしが基金	詳細は 11 ページをご覧ください。
⑤	ナカザワNEOフレンドシップ基金	詳細は 11 ページをご覧ください。
⑥	げんさん食育NPO基金	詳細は 12 ページをご覧ください。
⑦	湖国文学活動応援むらさき基金	詳細は 12 ページをご覧ください。
⑧	びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金	詳細は 13 ページをご覧ください。

(5) 助成対象事業の実施期間

2020年4月1日から2021年3月31日までに実施を計画している事業

(6) 審査・選考

選考方法

選考は、未来ファンドおうみ運営委員会の審査によりおこないます。一次審査(書類審査)と二次審査(公開プレゼンテーション)を実施する助成事業と、一次審査(書類審査)のみの助成事業とがあります。各助成事業の詳細は、9ページ～13ページをご覧ください。なお、場合によっては、申請内容について問い合わせをさせていただく場合があります。

選考の流れ

募集・受付	2019年11月20日～2020年1月10日
↓	
一次審査(書類審査)	1月下旬
↓	
一次審査(書類審査)の結果通知	2月上旬～中旬
↓	
二次審査(公開プレゼンテーション)	2月27日(木)午後
↓	
二次審査の結果通知	3月上旬～中旬

選考基準 次の6項目を勘案して、総合的に判断します。

1. 事業の必要性・公益性

社会や地域の課題・ニーズを的確に掴んで目的を設定していること。

2. 事業の地域信頼性

地域に根ざし、地域の多様な人々の協力によって支えられている事業であること。

3. 事業の独創性・先駆性

独創的・先駆的な事業、あるいは、従来から実施している内容に新しい視点や発想、手法が盛り込まれた事業であること。

4. 事業の実現可能性

事業計画が具体的で実現性が高いこと。

5. 予算の妥当性

事業予算が明瞭であること。

6. 事業の波及・発展性

助成期間終了後の継続的な事業の展開、あるいは他団体や地域への波及効果が期待できること。

(7) 助成決定についての留意事項

運営委員会の審査により、助成額が申請額より減額される場合があります。また、申請した助成事業と異なる事業で採択される場合もあります。これらの場合については、申請団体に確認の後、助成を決定します。

(8) 結果通知

選考結果は、申請団体へ文書で通知します。

3. 助成事業の留意事項

(1) 助成の対象となる経費

- ① 助成の対象となる経費は、申請事業に直接、必要となる経費です。
- ② 申請事業と直接関わりのない職員等の人件費、事務所の賃借料や水道光熱費、その他の維持経費は対象になりません。
- ③ 「申請事業 予算書」は、次の科目を使用して記入してください。

(直接経費)

科目	内容
旅費交通費	交通費、ガソリン代、駐車料など
通信運搬費	郵送料、物品の運搬費など
器具備品費(※)	事業の実施に不可欠と認められる備品の購入代
消耗品費	事務用品、材料、資材の購入費など
印刷製本費	資料・チラシ・ポスターなどの印刷費
燃料費	機材を動かすための燃料費
保険料	活動のための保険料
委託費	専門家などへ委託する費用
諸謝金	講師・専門家・スタッフへの謝礼金
使用料・賃借料	会場・設備使用料・機材賃貸料
教育研修費	事業遂行に関わる研修費・書籍代など

(※)高額な備品や他の事業にも使用できるものについては、審査前に聞き取りをおこないます。

【重要】びわこ市民活動応援基金Bの追加経費科目について

びわこ市民活動応援基金Bでは、上記の経費に加えて、下記の人件費も助成の対象とします。ただし、助成申請金額または助成額の20%を上限とし、予算書の積算根拠の欄（申請書様式P6）に、人件費該当者名、作業内容、単価、日数などの積算内容を記載してください。

積算内容が大幅に変更されたり、活動が申請時の計画内容とかけ離れた場合は、人件費に係る助成金の全部、または一部を返還していただく場合がありますので、十分ご留意ください。

人件費	助成事業の実施に携わる事務局スタッフの人件費
-----	------------------------

(2) 助成割合

すべての助成事業の助成割合は 10/10 ですが、今後の事業継続のためにも、事業収入や自己資金を組み入れた事業計画・事業予算にしてください。

(3) 助成事業採択後の流れ

助成期間の始まり	2020年 4月 1日より
↓	
※オリエンテーションへの参加	5月 16日(土)
↓	
助成金の概算払請求手続き	5月
↓	
※中間報告・相談会への参加	9月～10月 予定
↓	
助成期間の終了	2021年 3月 31日まで
↓	
事業報告書等の提出	1月～4月
↓	
※成果発表会への参加	5月中旬 予定
↓	
助成金の精算払い	

- ① 赤字については、必ず出席してください。
- ② 助成事業で作成するチラシ、ポスター、情報誌、報告書などの印刷物には、必ず未来ファンドおうみから助成を受けている旨と、指定のロゴを掲載してください。
(ロゴのデータについては、オリエンテーションで説明します。)

(4) 助成期間終了後の提出書類

助成対象事業終了後、淡海ネットワークセンターが定める期日までに、次の報告書類を提出していただきます。

- ① 事業報告書、会計報告書(所定の様式)
- ② 助成事業の実施状況を示す写真、資料等
- ③ 未来ファンドおうみから助成を受けている旨を表示した印刷物等、写真等
- ④ 領収書のコピー

※詳しくは、助成決定後のオリエンテーションでお渡しする手引きに従ってください。

(5) 助成金の返還等

次の場合は、助成金の全部または一部を返還していただきます。

- ① 助成金を、対象事業以外または対象経費以外に使用したとき
- ② 助成期間終了後の提出書類を提出しなかったとき
- ③ 助成した事業が中止、あるいは助成期間終了後、使っていない助成金があるとき

- ④ 申請書提出時の計画から申請事業が大幅に変更され、助成決定の主旨とかけ離れたとき
- ⑤ 出席が義務付けられているオリエンテーションと中間報告・相談会、成果発表会を正当な理由なく欠席したとき

(6) 個人情報の取り扱い

ご記入いただいた個人情報は、当財団の事業以外には使用しません。

(7) 事業サポート

淡海ネットワークセンターは、助成団体に当センターが実施する講座への案内や、他団体の活動紹介などの情報提供をおこなっています。また、事業の実施、広報、組織運営、会計などの相談(無料)も随時受け付けていますので、気軽に利用してください。さらに、組織マネジメントについての専門的な助言や指導が必要な場合は、アドバイザーの派遣を支援します。(この場合は、利用団体に費用の一部を負担していただきます)

このように、淡海ネットワークセンターの助成事業は、助成金(お金)による支援だけでなく、多面的なサポートをおこなうところが大きな特徴となっています。

4. 応募手続き

(1) 申請書の入手方法

淡海ネットワークセンターのホームページからダウンロードできます。
また、淡海ネットワークセンター事務所にも置いてあります。



こちらのQRからも可

(2) 説明会

裏表紙に記載している4会場で実施します。

また、淡海ネットワークセンター事務所で随時、相談を受け付けています。期間は2019年11月20日～2020年1月8日までの開館日です。必ず電話での予約をお願いします。なお、相談と選考は無関係ですので、ご了承ください。

(3) 応募書類

◆申請書（様式第1号）

◆添付書類（必須）

- ① 定款、規約、会則など、申請団体の組織運営がわかるもの。
- ② 役員名簿
- ③ 2018年度の事業報告書
- ④ 2018年度の活動計算書（決算報告書）
- ⑤ 2019年度の事業計画書
- ⑥ 2019年度の予算書

※「笑顔あふれるコープしが基金」と「びわ湖源流の気遣い応援もえぎ基金」に申請する2019年度に立ち上げたばかりの団体は、③④は無くて結構です。

※「湖国文学活動応援むらさき基金」に申請する2019年度に立ち上げたばかりの団体は、③④⑤⑥は無くて結構です。

◆添付書類（任意）

- ① 申請団体の活動がわかるパンフレット、ニューズレター、会報、写真など

(4) 応募受付期間

2019年11月20日～2020年1月10日
(1月10日(金)17時 必着)

(5) 応募に関する注意事項

- ① 応募書類に不備がある場合は、選考対象となりません。
- ② 応募書類は直接持参するか、配達記録の残る郵送方法(期限内必着)で送付してください。FAX、E-mail による送付は受付いたしません。
- ③ 提出された応募書類や添付資料などはお返しできませんので、必要な場合はコピーをとっておいてください。
- ④ 助成対象事業に関して他の助成団体や行政等に助成金等を申請している団体は、募集先の事務局および淡海ネットワークセンター事務局の双方に、助成事業のすみ分けについて確認をしたうえで、応募してください。

(6) 応募先(事務局)

淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)
〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20(ピアザ淡海 2F)
TEL:077-524-8440

5. 助成する基金の種類と内容

①びわこ市民活動応援基金 助成事業

B改訂

〈基金の設立と寄付〉

「びわこ市民活動応援基金」は、株式会社関西みらい銀行（旧株式会社びわこ銀行）と社員の皆さまからの寄付金により 2010 年に設立されました。

この基金は A と B の 2 種類あります。

びわこ市民活動応援基金 A

〈助成対象事業〉

この基金は、多くの人々に恩恵をもたらすような「公益性の高い事業」、あるいは地域のニーズに基づいた「地域の活性化につながる事業」に助成します。

1 団体への助成金額	30 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査（書類審査）、 二次審査（公開プレゼン）

びわこ市民活動応援基金 B

〈助成対象事業〉

この基金は、地域社会の課題解決のための「より独創的・先駆的な事業」、あるいはそのような事業の実施に向けた「組織力の強化のための事業」に助成します。

1 団体への助成金額	50 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査（書類審査）、 二次審査（公開プレゼン）

②びわ湖の日基金 助成事業

〈基金の設立と寄付〉

「びわ湖の日基金」は、びわ湖の日 30 周年を記念して 2011 年に設立されました。

〈助成対象事業〉

この基金は、琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる実践活動や調査活動などで、今後も継続することが期待できる取り組みに助成します。

※ただし、びわ湖の日一斉清掃関連の活動は除外します。

1 団体への助成金額	30 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査)、 二次審査(公開プレゼン)

ご寄付いただいた皆さま(敬称略)

(株)いのうえ、抱きしめて BIWAKO 実行委員会、(有)とも栄菓舗、(株)ヌーベルムラチ、

(一社)比良里山クラブ、真田かずこ、(有)豆藤、(株)ロハス余呉、

びわ湖ポートレース場内募金、近江通商(株)、循環型社会創造研究所「えこら」、

びわ湖りす森倶楽部、びわ湖チャリティー100km歩行大会実行委員会、匿名個人 2 件

(2019 年 10 月現在)

③積水化成品基金 助成事業

〈基金の設立と寄付〉

「積水化成品基金」は、河川、森林や琵琶湖の生物多様性保全活動の支援を目的に、積水化成品工業株式会社からの寄付により 2012 年に設立されました。

〈助成対象事業〉

この基金は、市民による環境保全活動の充実をめざし、年間をとおして継続的におこなわれる活動に助成します。あわせて、積水化成品グループ社員も社会貢献活動としてボランティア参加できる活動を対象とします。

※甲賀市、湖南市、草津市、守山市、栗東市、野洲市を含む湖南地域で行われる取り組みを優先します。

1 団体への助成金額	20 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査)のみ (二次審査(公開プレゼン)を求める場合があります。)

④笑顔あふれるコープしが基金 助成事業

〈基金の設立と寄付〉

「笑顔あふれるコープしが基金」は、“人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現をめざすこと”を目的に、生活協同組合コープしがの創立 20 周年を記念して 2013 年に設立されました。

〈助成対象事業〉

この基金は、地域の高齢者の居場所づくりや見守り活動、子育てや食育など、身近な問題への取り組みによって、私たちのよりよい暮らしにつながる活動に助成します。

※始めたばかりの活動、またこれから始める活動を優先します。

(ただし、すでに組織ができていることの確認がとれることが条件となります。)

1 団体への助成金額	10 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査)のみ (申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。)

⑤ナカザワNEOフレンドシップ基金 助成事業

〈基金の設立と寄付〉

「ナカザワNEOフレンドシップ基金」は、株式会社ナカザワのアジア(ベトナム・中国・カンボジア)への海外店舗オープンを記念して、2014 年に設立されました。

〈助成対象事業〉

この基金は、多文化共生の地域づくりをめざした、「子ども・教育」、「日本語学習支援」、「意識啓発・地域コミュニティづくり」などの活動に助成します。

1 団体への助成金額	10 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査)のみ (申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。)

⑥げんさん食育NPO基金 助成事業

〈基金の設立と寄付〉

「げんさん食育 NPO 基金」は、元三フード株式会社の創業 110 周年を記念して、2015 年に設立されました。

〈助成対象事業〉	
この基金は、障がいのある子どもたちが健やかに成長していくことを、食育などを通じて地域とともに応援していく活動に助成します。	
1 団体への助成金額	10 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査)のみ (申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。)

⑦湖国文学活動応援むらさき基金 助成事業

〈基金の設立と寄付〉

「湖国文学活動応援むらさき基金」は、紫式部の大著「源氏物語」の研究と語り部活動にたずさわってこられた発案者のご家族からの寄付を受けて 2015 年に設立されました。

〈助成対象事業〉	
この基金は、文学を介してこころ豊かな地域づくりを目指している、「湖国に因む文学に関わる活動」や「湖国に根ざす文学的な活動」などに助成します。 ※新たに取り組みを始める立ち上げの事業、あるいは既存の活動のなかで新規の企画に取り組む事業に助成します。(ただし、2019 年度以前に結成された団体を対象とします。)	
1 団体への助成金額	10 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査)のみ (申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。)
その他	採択された団体には、助成の成果をみせていただくために、2021 年度と 2022 年度の活動概要がわかる報告書の提供をお願いします。

⑧びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金 助成事業

〈基金の設立と寄付〉

「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」は、発案者が「近くの山の木で家をつくる運動」に関わってきたことに由来し、「湖国文学活動応援むらさき基金」の対となる基金として 2017 年に設立されました。

〈助成対象事業〉

この基金は、びわ湖源流の森の木を主な対象にした「新しい産物や製品の創出」、「木を使う仕組みづくり」、「木を使う大事さの啓発」、「地元の木を活かした特色ある家づくり」、「地元の木の新しい活用方法の創案」などの取り組みに助成します。

助成対象としては、①既存の団体による「新規の企画事業」と②「事業拡大を目的とした事業」があります。(①「新規の企画事業」については、主には 2019 年度以前に結成された団体を対象としますが、新規の団体のスタートアップ事業も含まれます。)

①新規の企画事業

1 団体への助成金額	10 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査)のみ (申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。)
その他	採択された団体には、助成効果をみせていただくために、2021 年度と 2022 年度の活動概要がわかる報告書の提供をお願いします。

②事業拡大を目的とした事業

1 団体への助成金額	30 万円以内
採択予定団体数	数件程度
選考	一次審査(書類審査) 二次審査(公開プレゼン)
その他	採択された団体には、助成効果をみせていただくために、2021 年度と 2022 年度の活動概要がわかる報告書の提供をお願いします。

※②への応募について

- ・原則、過去に①の助成を受けられた団体に限ります。
- ・ただし、①の助成を受けていなくても、②の事業に相応しくかつ緊急性があると運営委員会が認めた場合は採択される場合があります。

2020年度 未来ファンドおうみ助成事業 説明会のご案内

近江八幡会場	2019年 12月10日(火)	10:30 ~ 12:00	滋賀県立男女共同参画センター (研修室B)
水口会場	12月10日(火)	14:00 ~ 15:30	水口中央公民館(会議室1)
長浜会場	12月12日(木)	10:30 ~ 12:00	長浜市立 長浜まちづくりセンター (2A)
大津会場	12月14日(土)	10:30 ~ 12:00	淡海ネットワークセンター (ふらっとルーム)



申請書のダウンロードは
こちらから



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

TEL: 077-524-8440

FAX: 077-524-8442

E-mail: office@ohmi-net.com

ホームページ: <https://www.ohmi-net.com/>